

平成19年度から、大山まちづくり委員会が立ち上がり、議論を重ねてきていますが、大山地域の皆さんのまちづくり計画に対しては、板橋区はしっかりと協力し、地元の活動を支援していただけたということです。

そこでいくつか質問いたしました。

Q1 大山のまちづくりの第1弾となる予定の総面積5089㎡のピッコロスクエアの再開発。都有地が45.9%、区有地は37.5%、その他が16.6%。都有地部分については、再開発をスムーズに進めるためには板橋区が買い上げるべきだと思うが、どうか？

再開発における選択肢の一つとして検討を進めていきたい。

Q2 補助26号線と東上線との交差は、地下化か高架化のどちらかになるが、地下化・高架化の技術的な問題点と金銭的な問題に分けて、現状の板橋区の見解はどうか？

鉄道の構造形式については事業主体の東京都が決定するが、地下化の場合、高架化に比べて事業費が高額となり、区の財政負担が増加する。



2 大山小学校の跡地と周辺地域の問題について

大山小学校は残念ながら、本年3月に閉校となります。大山小学校は、およそ半分が借地ですが、隣の板橋二中についても、同様の土地所有者に借りています。板橋区は、板橋二中の借地部分と、大山小の板橋区所有の部分との交換による、板橋二中の敷地の完全区有化を目指しましたが、土地所有者の意向で交換の話はなくなりました。では、大山小学校の跡地はどうなるのかについて質問いたしました。



Q3 土地所有者と板橋区の区分所有であろうが、どちらか一方がすべてを取得しようが、一体化での跡地利用を提案する。

若葉小跡地のように、社会福祉法人等に長期に貸し出して、賃料を徴収し、特別養護老人ホームを中心とした社会福祉施設の誘致を提案する。

デイサービスやショートステイの併設、都営西町団地の老朽化に伴う、大山西町保育園の移設、さらにリハビリ用のプレイルームなどの空間や大きな中庭を災害時には地域の避難所として開放する契約を盛り込むのはどうか？

一体的に活用するほうが区や土地所有者にとっても、地域のまちづくりにとってもメリットがあると考えて、その方針で土地所有者と協議中。

大山小学校に隣接する交通公園は普通公園へのリニューアルが検討されています。広々とした空間と小さなお子さんからお年寄りまで、すべての区民がゆったりとんびりできる、公園整備にしていきたいと思っております。



Q4 公園の管理棟は老朽化が甚だしく、耐震上も問題であるので、解体・改築をすることになるが、新しい管理棟には、避難所機能を有する地域開放スペースや図書室、災害時用の備蓄物資も備えていただきたいが、どうか？

改修後の新しい公園のあり方、関係法や条例の規定、大山小学校の跡地の動向を踏まえて慎重に検討する。

3 コミュニティバスの運行について

平成21年から始まったりん号の実験運行が、26年3月までとなりますが、約4年で1億円も財政負担をしている割には、未だに1日の乗客数は200人を超えた程度となっています。杉並区のすぎ丸というコミバスでは、1日で1686人という路線もあります。



Q5 いつ撤退または続行または拡大の結論を発表するのか。また、今年度行われている評価委員会の途中経過は？

本格運行に移行する場合は現行ルートで。ルートの新設の場合は導入の可能性について今年度中に検討。

Q6 有楽町線小竹向原駅から日大病院、東上線中板橋駅、豊島病院を経て板橋区役所。そして健康長寿医療センターから、東上線大山駅、東上線沿いに下りてまた日大病院を経て小竹向原駅に戻るルートを新設していただきたいがどうか？

道路幅員が狭いなどの問題があるがより小型の車両も視野に入れた調査や事業収支と財政負担などの検討をする。

- その他に、・公共施設での喫煙場所の確保について
 - ・ながら携帯電話の禁止条例の制定について
 - ・武道の必修化の成果について
 - ・武道場の積極的地域開放を
 - ・土曜授業の行方について
 - ・榛名学園と八ヶ岳荘の将来的な改築について
- などについて質問いたしました。



新しいキッズ条例可決を巡る動きについて報告します！

8月23日の閉会中の文教児童委員会において、あいキッズの見直しについての最初の報告があつて以来、新しいキッズの方針が出て、議論を重ねてきた結果、12月16日の最終本会議において、7人の討論を経て、賛成30名、反対13名で新しいキッズ条例は成立しました。

現行あいキッズでは、一般登録と学童クラブ登録は、次のページのように、所管の違いからも全くの別扱いとなっており、同じ学校の児童であっても障壁が感じられていました。新しいキッズでは、すべてが教育委員会の所管となっていますので、夕方までは全児童が学校施設で遊んだり、静かに読書をしたりと一体感が感じられます。17時以降に残る児童が時間帯によって料金が異なるシステムとなっています。